

# ともにー通信



各事業所より

行事

お知らせ

編集後記

共同生活援助事業所  
ともにーホーム



就労継続支援A型事業所  
ともにー



就労継続支援A型事業所  
ステップアップともにー

就労移行支援事業所  
ポートビズ



就労継続支援B型事業所  
ともにードリーム

放課後等デイサービス  
スマイルともにー1・2



もう12月、やっとな12月…みなさまにとってはどのような1年  
でしたでしょうか？  
今月号のテーマは「年末の挨拶とまとめ」です。

Facebookページ

QRコード

特定非営利活動法人  
東京自立支援センター  
〒186-0003東京都国立市富士見台4-11-7-101号  
TEL 042-576-9088 FAX 042-576-9144  
ホームページ <http://www.tokyo-tomonoy.org/>





## 就労継続支援A型事業所 ともに一

今年は27名でスタートしましたが年齢のこともありB型に移動された方などがいらっしやり今は25名の利用者さんで作業を行っております。コロナの影響を受け行事が何もできない一年でしたが楽しみにしている利用者さんも多くいるので一日でも早いコロナの終息を望みながら、たのしい行事ができることを願っています。

自主事業として始めたパンづくりも少しずつ軌道に乗り始めています。

現在は受託先からの仕事が安定し作業を行う利用者さんも増えてきましたが、まだフルに働けていない方もいる現状です。日々利用者さんが休業なく働けるよう事業所としても最大限の努力を続けてまいりますので、今後も皆様方のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

所長 高森 千穂

## 就労継続支援A型事業所 ステップアップともに一

今年のステップアップともに一は、4月に1名の利用者さんが就職（前月利用者インタビューで掲載）、他利用者さんも本人の希望を聞きながら、現在ポートビズの訓練に参加（実習）している方もいます。A型に通う方なかで、将来は一般就労を目指す方も多く、様々な選択肢ができるように、ポートビズの訓練を体験する機会や、本人、保護者、相談支援事業所などの関係機関の皆様とも連携し、外部の実習参加の調整、情報共有も行っています。今後も希望に沿った体験や実習の機会を提供していけるよう、引き続き支援していきます。

コロナが続く一年、第8波、インフルエンザとの同時流行、変異株など心配は続きます。手洗い、消毒、屋外でもマスク着用、人混みを避けるなど、今度も一人ひとりができる感染予防をしていきます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



所長 前田 摩耶

## 就労移行支援事業所・就労定着支援事業所 ポートビズ

就労移行支援事業所は2年と言う定められた期限の中で、障害者雇用されるように、事業所内で訓練したり、実習面談会に申し込んだり、企業見学に行ったりします。コロナ禍で企業見学も減ってしまいましたが、企業がリモートでの開催をしてくれるので、みんなで拝聴しました。また、しごと財団主催の障害別の就活セミナーも開かれ、今年は2名が参加しました。4日間の日程で最終日は模擬面接を行います。緊張の中にも面接の雰囲気は味わえ、講師のアドバイスも的確で、とても参考になります。昨年参加した利用者は雇用に結びつきました。新規の利用者さんは7月と12月に1名ずつ、利用を始めました。

所長 伊藤 英治



## 共同生活援助事業所 ともに一ホーム

「新しい生活様式の実践」を踏まえつつ、試行錯誤する一年となりました。

感染者数が少なくなった頃合いを見計らって、少人数でのホーム旅行や、家族交流会を実施することが出来ました。日常生活を離れた場で笑い声があふれ、楽しいひと時となりました。

半面、第7波のピーク時には、ホーム内でも複数の感染者が発生し、緊張した日々を過ごしました。感染した方は、辛抱強く自室で療養してくださいました。職員も保健所や市役所のご指導をいただき、懸命に感染予防策を講じながら支援にあたり、二次感染を防ぐことができた時には、心から安堵いたしました。ご理解、ご協力くださった他の利用者さんやご家族の皆様には、改めて感謝申し上げます。

明るいニュースとしては、中央馬主協会様のご支援により、ホームの車を新調することができました。日常の買い物や通院などに、ありがたく使わせていただいております。

新しい年も、ホームでの生活が充実したものとなるよう、職員一同力をあわせて励んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

所長 渡邊 吉郎



## 放課後等デイサービス スマイルともに一1・2

今年も元気いっぱい通ってくれる子どもたち、日ごろからご理解ご協力いただいている保護者の皆様、関係機関の皆様のおかげで充実した一年となりました。

夏休みのお出かけや季節のイベント、日々の活動を通して子どもたちが楽しんでくれている様子を見て、職員もとてもうれしい気持ちになる一年になりました。イベントではコロナ禍以前のように他事業所と交流をしながら進めることができました。他事業所職員との交流により、子供たちを取り巻く環境の輪が広がり多くの人とのつながりを感じられる良い機会になったと思います。

これからも子どもたちにスマイルともに一で楽しみ、成長しながらたくさんの思い出を作ってもらえるよう、職員一同精進してまいります。

書面で恐縮ではございますが、年末の挨拶とさせていただきます。

ご家族そろって輝かしい新年をお迎えください。

所長 鈴木 郁美



就労継続支援B型事業所 ともに一ドリーム

今年は新しく国立市にある企業様からお仕事を頂くことができ新しい仕事が増えました。

コロナの影響で行われなかった国立市のイベントに3年ぶりにじゃがバターのお店で参加をすることができました。お店で仕事をしてくださった利用者さんやじゃがいもの準備の仕事をしてくださった利用者さん、室内作業を頑張ってくださった利用者さんのおかげで無事、終わることができました。

利用者さんが作って収穫したサツマイモを食べるレクリエーションをスマイルともに一と一緒にすることができました。焼き芋のところに行くのではなく室内でおいもを食べる利用者さんもいましたがおいしいと喜んでくれました。

いつも仕事を頑張ってくださっているので、コロナ禍でもできるレクリエーションを今後も行っていきたいと思います。

コロナの事も昨年引き続き今まで以上に皆様にはご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

所長 伊東 美紀



編集後記

ウィズコロナがすっかり定着し、経済活動と感染対策と言う一見、矛盾したことを行っている。日本が活躍しているワールドカップの会場での日本人観客も皆、マスクをしていない。エイズ・マーズ・サーズも収まった。いつの日かコロナも『そんな病気も流行った事があったね。』と言える時代が来て欲しい。今年も暮れていきます。皆様良いお年を！

※ポートビズ職員と利用者さんが編集・校正をしています。